

令和6年度第1回 小・中連携研修会総括

- 1 日時 令和6年6月17日（月） 14：30～16：40
- 2 場所 鹿児島市立吉田南中学校
- 3 内容



(1) 授業参観（14：40～15：30）

各学年の授業の様子を参観しました。中学校の先生方の指導の様子や生徒の学びの姿を参観した小学校の先生方から、次のような感想が寄せられました。

- ・英語の授業では、1年生の1学期でここまでの内容を学習するのかと驚いた。中学校のカリキュラムも念頭に置きながら指導する必要があると感じた。
- ・数学の授業参観をしましたが、テンポがよくとてもわかりやすかったです。理解出来ていない生徒に、理解している生徒の言葉を使いながら解説したりヒントを与えたりしていて自然と学び合いが出来ていたように感じました。最初に小学校の復習を入れながら授業を進めていることから、小学校での学び、中学校でのつながりが重要であることを感じました。

(2) 分科会（15：45～16：40）

ア 学習指導

- ・吉田南中の学習のしつけを共有できればよい。
- ・家庭学習については、各学校の実態に合わせて取り組んでいく。
- ・学習の振り返りを大事にする（振り返りの仕方を確認することが必要）。そして、児童生徒の自己肯定感を高める。
- ・第2回の会で一時徹底を決めることができればよい。
- ・活動を楽しむことが学習の基本である。

イ 生徒指導

- ・吉田南中学校校区校長会が保護者に配布した『児童生徒のスマホ・ネットの安心安全利用について』を各学校でも活用して共通理解や指導につなげてほしい。
- ・小中学校が連携しての校則等への対応が必要である。
- ・特に、共通実践として『言葉遣い』に取り組んでほしい。

ウ 特別支援教育

- ・Microsoft Teams を活用して情報共有を行う。
- ・お互いに悩みを話し合い解決へと近づける。特性についての知識・理解を深める。（担任が進路に係る情報を持っていることで、保護者へのアドバイスができる。）
- ・タブレット入力がスムーズにできるよう指導・支援する。
- ・小学校でもローマ字入力を身に付けさせることができるような指導を心がける。

4 第2回研修会に向けて

- (1) 授業参観：本名小学校全学年で授業を提供する。「学習者主体の授業」、鹿児島市が提唱している「非認知能力」育成を視点とした授業参観を提供する。
- (2) 分科会：各校の情報共有とともに、共通実践事項を策定する。
- (3) 運営面：引き続き全教員参加を基本とする。
- (4) その他：第1回研修会を受けて各校の実践を進めていく。（第2回研修会の分科会にて報告）

1 日時 令和6年11月11日（月）14:00～16:30

2 場所 鹿児島市立本名小学校

3 内容



(1) 授業参観（14:10～14:55）

各学年の授業の様子を参観しました。「学習者主体の授業」「非認知能力の育成」を視点とした授業を参観した小・中学校の先生方から、次のような感想が寄せられました。

- ・子供達の学習を成り立たせるために、低学年からの学習のしつけや学校の共通実践をどの学年でも引き続き取り組むことの大切さを日々感じている。
- ・時代を反映して「非認知能力の育成」等も配慮して授業を構成しようとする姿勢に共感します。
- ・どの学年も、考えを伝え合う場が位置付けられていて、良いと思いました。また、「学習者主体の学び」を参観の視点に位置付けていたことで、どの授業にも提案性があったと思います。

(2) 分科会（15:10～16:30）

ア 学習指導

- ・宅習の取り組み方の改善
- ・学習者主体の学びの充実
- ・学習のしつけの定着
- ・ガイド学習を身に付けさせるための段階的な指導
- ・ノーメディアの取り組み

<共通実践事項>

◎1分前着席、黙想

イ 生徒指導

- ・学力不振から不登校傾向にある生徒の対応を検討中
- ・児童の情報共有を行い、様々な職員から児童への声かけを行い、自己肯定感を高める。
- ・丁寧な言葉遣い。振り返りを行い、丁寧な言葉（正しい言葉遣い）を教える。
- ・登校しぶりや生徒指導上の問題について全職員で対応を協議。各方面から、スズキ校務「日々の様子」に記録、情報共有。

<共通実践事項>

◎メディアリテラシー教育の実践

◎不登校対策としての「心の天気」の活用（心の変化をキャッチし、早急に対応する。）

ウ 特別支援

- ・ローマ字入力…振り返りの過程で入力する等して、速度を上げていく。
- ・タブレット活用時の約束事を決める。（全体で取り組み、中学校へつなげる。）
- ・アプリや音声入力等を活用していく。（ひらがな入力も難しい子に対する手だて）
- ・保護者に対するメディアの使い方の周知を図る。
- ・教科担任まかせにならぬよう先々の進路を意識しながら、こまめに実態把握・共有する。

<共通実践事項>

◎自立活動の充実（SST、ローマ字学習はこの中に含まれる。）

4 令和7年度に向けて（第2回推進委員会：令和7年1月23日開催）

(1) 令和6年度の小・中連携研修会のまとめ

(2) 令和7年度の小・中連携研修会の在り方の提案（令和7年度担当校：牟礼岡小学校）

※（1）で協議した内容を加味した実施要項については、令和7年度の第1回推進委員会で協議・決定されます。